



4. 質の高い教育をみんなに

(概要版) 大妻中野中学校3年5組

4 質の高い教育を
みんなに



世界の教育の現状

■ 教育は「子どもの権利条約」で保障された基本的な権利

- ◆ 1990年に「万人のための教育」を世界共通の目標として掲げている
- ◆ 2015年からは「SDGs」の中でも、**すべての開発目標の達成に欠かせないもの**と認識されている

■ 世界で教育を受けられていない人の人数

- ◆ 読み書きができない人は7億8,100万人（世界で10人に1人の割合！）
- ◆ 初等教育を受けられていない人は5,900万人（男 2700万人/ 女 3200万人）
→ 女性が教育を受けられていない現状

教育を受けたくても受けられない国々とその理由

■ サハラ以南のアフリカ地域と南アジアの国々で深刻な問題

- ◆ 初等教育を受けられない人のうち、半数以上がサハラ以南のアフリカ地域で、南アジアにも約1000万人が学校に通えないと言われている
→ **虐待・貧困・男女差別・紛争などが他の地域と比べて多いことが原因**

■ 教育を受けられない国の共通点

- ◆ 主にアフリカの人たちの収入源は農業で、天候に左右されることから安定してお金を得ることが難しく、**貧困**になりやすい。そして、家計を助けるために働きに出る子供も少なくなく、結果として教育を受ける機会を失う。
- ◆ 教育を受けられない子供の数に対して、**学校や教員の数が不足**している。教員の中には十分な教育を受けていない教員も多く、教員の質にも課題がある。

質の高い教育ができる国とできない国の違い

	質の高い教育ができる国	質の高い教育ができない国
生活水	水道から安全な水が出る	川や湖に片道何時間もかけて水を汲みにいかなければならない
教育費	無償の義務教育制度がある	貧困などが原因で、教材費や教育費を払うことが難しい
男女の違い	男女平等	女性より男性の方が優遇される慣習があり、男子が優先的に通学



4. 質の高い教育をみんなに

(概要版) 大妻中野中学校3年5組

4 質の高い教育を
みんなに



「教育」が受けられない国はどうか？

■ 仕事を選ぶことができない

- ◆ 読み書きを全くしない仕事などほとんどなく、企業が育たず国の経済の発達が見込めない。そのため、雇用機会も生まれにくく、貧困が解消されない。

「教育が受けられない」⇒「読み書き計算ができない」⇒「安定した職業に就けない」⇒「収入が少ない」⇒「教育が受けられない」・・・負の連鎖から抜けられず！

■ 注意書きを読むことができない

- ◆ 危険なエリアへの警告や注意書きが書かれていても、それを読めなければ命の危険にさらされることも考えられる。
- ◆ 薬などの説明が読めずに正しく服用できずに病が完治しないことも。

■ 公共サービスを正しく利用できない

- ◆ 必要な情報を得て理解することや手続きすることができずに、意図しないトラブルを招いたり、詐欺などの被害にあうことも考えられる。

経済状況や環境など“困っている現状”を変えることが難しい！

「質の高い教育」の実現のために

■ 生活水・衛生環境の改善

- ◆ 飲料水として安全な水を汲みに行く時間の浪費、貧困な地域では子どもは貴重な労働力であることなどが、教育機会を逸することに繋がっており、学校に通う時間的な余裕を作り出すことが必要。

→ 生活において**効率的に作業ができる環境を作ること**が解決するための答えの1つであると考えた。【9. 産業と技術革新の基盤を作ろう】と関係 →

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



■ 経済面での支援

- ◆ ブルンジでは2005年に初等教育の授業料を免除した結果、始業初日に新たに50万人の児童が入学したという事例や、ウガンダでは学費を廃止した後女子の就学率が20%改善したことなどがあった。

今の私たちにできること

■ 自分たちのことだけでなく“世界の現状”を知ろうとする

- ◆ 正確な情報を知ろうとし、何ができるかを考えること
- ◆ **例えば1日40円の節約で、1年で井戸が作れる！**

